



高野山アニミズム展

koyasan animism exhibition



■高野山アニミズム展 開催によせて

人も、花や木や山や鳥や獣も、生きとし生けるものはすべて等しくアニマ(=イノチ)が宿る尊いものです。アニマは地球上のみならず大宇宙を満たし、高野山を総本山とする真言密教では、大宇宙・虚空に偏在する大日如来を最高仏としています。

古代の日本人は、人間も自然の一部である、あらゆるものに魂が宿っているというアニミズムの世界観の中で生きていました。人がそれを忘れたことで、世界には戦争、核、環境破壊、遺伝子組み換え食品の蔓延など、命をないがしろにした悲しい事柄があふれています。このまま人間中心主義、経済至上主義のまま暴走し続けるのか、一つのイノチ/イノチの一つとして生きるのかを、いま私たち一人一人が問われています。

高野山を有する紀伊半島は、神道、仏教、修験道といった複数の宗教文化が共存する世界的にも稀な場所であり、そうした在り方は思想の差異による争いが絶えない世界を平和に導く指針でもあります。本展を舞台とし、「場所」「歴史」「人々」それぞれが発する「力」が出会う時、未来への明確なヴィジョンが観えてくるでしょう。高野山の清浄な霊気を体感するためにも、多くの方に足をお運び頂きたいです。

2015年、高野山は弘法大師空海による密教の道場建設から1200年を迎えました。そのような大きな霊的うねりに、あまねくイノチの御加護の願いを乗せ、アートとして道しるべを示す展覧会にしたいと考えます。

■about exhibition

People, flowers, trees, mountains and animals, all the living things have their own ANIMA(=life) in them. Therefore they are precious. ANIMA fills not only the earth but also the universe, while Shingon Esoteric Buddhism, that is topped by Koyasan, reveres omnipresent "Dainichi Nyorai (Vairocana)" as the holiest Buddha.

Ancient people in Japan live in Animistic worldview in which people are regarded as a part of entire nature and everything has its own soul. Now people forget this thought and the world fills with war, nuclear bombs, destruction of the environment, genetically modified foods etc. Life is becoming nothing. We are questioned whether he/she continues to lead his/her life with human centralism and believe in the supremacy of economy. Or to live as one life and one of life.

Kii peninsula, "Koyasan" is in it, is the rare place that has many religious cultures, namely "Shinto", "Buddhism" and "Shugendo". This can be a guideline for making this world, fighting war over differences of thoughts, be peaceful space. With this exhibition you can see the clear vision of future through powers of place, history and people. Please visit us and feel sacred atmosphere of "Koyasan".

1200 years have passed since the opening of Koyasan as Mikkyo (Esoteric Buddhism) temple by Kobodaishi-Kukai. We want our exhibition will be a signpost of our hope for spiritual protection for every life.



会場の無量光院



羅入「あまねくの御子」



篠原誠司「Iwafune 2014.5.15」



石川雷太「猫マンドラ」



藤原重夫「いのち」

▶石川雷太 Raita Ishikawa / 現代美術、インスタレーション

茨城県に生まれる。鉄、ガラス、文字などを用いたインスタレーション作品を多数発表。多様な引用と組み合わせ(サンプリング&ミックス)により、物質と人、自然や戦争の問題まで、様々な角度から「世界」を映し出す。ノイズ・パフォーマンス・ユニット『Erehwon』『混沌の首』の活動でも知られる。展示は、森美術館、府中市美術館、イスラエル美術館、原爆の図丸木美術館、『日本アンデパンダン展』『BIWAKOビエンナーレ』他。ホームページアドレス http://erehwon.jp/raita_ishikawa

▶羅入 Laju / 現代美術、オスジェ

京都在住。高野山真言宗僧侶。土生川正道前管に師事し密教を、蒲池清爾師に師事し銅版画を学ぶ。根源としての混沌を主なテーマとし、内なる真を具現化する。2009年より密教系リチュアルノイズ・ユニット『混沌の首』を共同主宰。全国の神社仏閣、大学、ギャラリー、ライブハウスなどで活動中。2012年より本格的に立体制作を始める。京都市美術館、久保記念美術館、ポータルアートミュージアムNO-MA、日本福祉大学などで展示。ホームページアドレス <http://kondon.org/laju>

▶藤原重夫(法名 祐寛) Shigeo Fujiwara / 水墨画、彩色画

日本画家。高野山画僧。1940年、大阪府和泉市に生まれる。1975年より画家として作家活動始める。元日本南画院理事。現在、京都墨彩画壇副理事長、大阪府文化財保護推進委員、和泉市文化財保護委員。文部科学大臣表彰、作家賞、文化賞、文芸賞、院賞、会長賞、よみうりテレビ賞、大阪市教育委員会賞、橋村賞、橋彦賞、ほか、多数の受賞。作品は高野山山内寺院、大峯山、松尾寺など全国寺院に收藏されている。

▶荒木重雄 Shigeo Araki / 言葉の作品

元NHK国際局チーフディレクター、元桜美林大学教授、高野山真言宗僧侶。社会に開かれた仏教を主張。インド・ブネー大学客員教授などを経て高野山で灌頂を受け高野山真言宗僧侶になる。著書『グローバル・アジアの社会的発展』のほか多数。現在『社会環境フォーラム』会長、『仏教に親しむ会』主宰。

▶篠原誠司 Seiji Shinohara / 写真

1965年栃木県生まれ。1988年多摩美術大学芸術学科卒業。ギャラリー勤務を経て、1992年から2005年まで東京・神宮前にてGallery ART SPACEを主宰。自身のギャラリーのほか、各地のギャラリーや美術館で、現代美術、写真など数多くの展覧会を企画する。1990年より写真家としての活動を始める。近年では2009年に『エコ&アート・近くから遠くへ』(群馬県立館林美術館)、2012年に『会津・漆の芸術祭2012』(福島県立博物館)等に出品。

『高野山アニミズム展』ホームページ <http://kondon.org/animism>
お問い合わせ / E-mail artcore@kondon.org

協力：無量光院、横山隆彦(翻訳) フライヤデザイン：石川雷太、羅入

- 会場の無量光院は宿坊です。お寺でのご宿泊については無量光院のホームページをご覧ください。
- ご宿泊の方は、開場時間(12:00~17:00)外のご観覧もご相談ください。TEL.080 3931 4377(石川)

無量光院 HP <http://muryokoin.net>



《電車でのアクセス》

大阪方面からは、南海電鉄「なんば駅」で南海高野線に乗り(特急85分、急行105分)『極楽橋駅』下車。和歌山・奈良方面からは、JR和歌山線「橋本駅」で南海高野線に乗り換え『極楽橋駅』下車。『極楽橋駅』でケーブルカーに乗り(5分)『高野山駅』下車。『高野山駅』から南海バスに乗り『高野警察前』バス停下車、徒歩1分で『無量光院』。

《車でのアクセス》

【京都・大阪方面から】阪和自動車道(美原JCT)から南阪奈道路(羽曳IC)で下り、国道170号線にて河内長野へ。河内長野の上原町交差点より国道371号線にて橋本市へ。九度山町経由国道370号線・480号線にて高野山へ。(京都より約3時間30分・大阪市内より約2時間30分)

【神戸方面から】阪神高速湾岸線(りんくうJCT)から阪和自動車道(泉佐野JCT)を經由し泉南ICで下り、県道63号(泉佐野岩出線)を岩出市へ。岩出市の備前交差点より国道24号線を橋本市方面へ。かつらぎ町笠田より国道480号線にて高野山へ。(神戸市内より約3時間)

《東京から》

東京からは新幹線等利用の他、大阪・関西空港まで早割航空券で5000円程度からあります。『関西空港』から南海線で『天下茶屋駅』へ。南海高野線に乗り換え『極楽橋駅』へ(極楽橋駅からは同上)。また、東京から大阪・難波まで高速バスで3000円程度からあります(なんば駅からは同上)。

